

## 電子情報工学科 江口 啓 教授

### 文部科学省検定済教科書 「技術・家庭科」技術分野の 学習指導書執筆に携わりました

本学電子情報工学科 **江口啓 教授**が、開隆堂出版株式会社から出版された、文部科学省検定済教科書である「技術・家庭科」技術分野の学習指導書の執筆に携わりました。[r3gi-tmanna.pdf \(kairyudo.co.jp\)](http://r3gi-tmanna.pdf(kairyudo.co.jp)) 令和3年度改定の“「技術・家庭科」技術分野：テクノロジーに希望をのせて”の教科書は、「1. 教育基本法（2条）との関連」、「2. 学習指導要領との関連」、「3. 学習指導上の効果や編成」などの観点を踏まえて編集されていることが特色となっています。

この「技術・家庭科」技術分野の教科書のための本学習指導書は、「実践編」、「内容編（A, B, C, D 各分冊）」、「デジタル教科書編」、「指導計画・評価編」、「事例編」、「入門編」、「ワークシート複写編」から構成されていますが、このうち江口教授は、「入門編」、「実践編」、ならびに、「内容編 C」の執筆に携わりました。本書は、令和3年度から中学校において使用されている教科書のための内容となっており、中学教員の技術の授業をサポートするためのコンテンツが掲載されています。



#### 【江口教授から、この度の執筆にあたり】

皆さんご存じの通り、高校の授業科目には「技術・家庭科」がありません。このため、工業立国であり、また、工業先進国である日本にとっては、“工学の基礎となる技術的な内容”を学ぶことのできる中学校の「技術・家庭科」は、非常に重要な意味をもっています。また、人が最も多感な時期に学ぶ中学校の授業は、将来の職業選択にも大きな影響力をもっています。このため、工業大学の教員として、この度の中学校「技術・家庭科」の指導作成に携わることができたことを大変嬉しく、また、光栄に思います。本指導書は、教育的な視点だけでなく、工学的な視点からも検討を重ね、これらの日本の技術者育成に貢献することを願って作成されています。本書によって、将来の工業先進国日本を支える、「工学好き」、また、「技術好き」の子ども達が一人でも多く育ってくれることを願っています。